

**令和7年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	54.3%				○	
数学	48.3%			○		
理科	503点 (IRTスコア)				○	

※中学校理科がCBT（コンピューターテスト）により実施され、学校ごとに出題された問題が異なることから、「平均正答率」に代わり「IRTスコア」という指標が使われるようになりました。

「IRTスコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は500点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	48.1%	○				
話すこと・聞くこと	53.2%		○			
書くこと	52.8%					○
読むこと	62.3%			○		

【考 察】

- 「書くこと」の領域は全国平均を上回りました。授業の中で、「書くこと」の領域に関係する内容について指導に時間をかけてきました。今後も目的を明確にした話し合い活動や学び合いの場を取り入れつつ、振り返りの時間に文章でまとめる時間を意図的に設け、さらに表現力を育てていきます。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では全国平均を下回りました。授業内で漢字や語句の指導を継続的に行う時間を確保し、知識・技能が定着するよう支援していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	43.5%					○
図 形	46.5%	○				
関 数	48.2%			○		
データの活用	58.6%			○		

【考 察】

- 「数と式」の領域では全国平均を上回りましたが、文字を用いた式で数量を表すことや、式の意味を読み取って成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がありました。今後は、ことばや式と合わせ図を活用して、基礎の理解と数学的に説明する活動に力を入れていきます。
- 「図形」の領域では全国平均を下回っており、基本的な図形の性質や用語の理解に課題があります。証明を読む活動や証明を振り返り、新たな性質を見出す活動の中で、繰り返し図形の性質や用語の意味を確認して理解を深めるよう努めます。

### 【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※理科については、一部の共通問題を除き、学校ごとに出題された問題が異なり、かつ公表されている問題も全体の4割程度となっており、国語や数学のように領域別の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

### 【考 察】

- 全国平均を上回ったのは、日頃から科学的な事物や現象をモデル化し可視化することで理解を深めたり、見通しをもって実験を行い得られた結果を基に考察する授業を繰り返し行ってきたりした成果だと考えます。
- 課題のあった問題では、授業で得た知識を身の回りの現象や事物に置き換えて考えることができていませんでしたので、各単元の最初や最後に身の回りの現象と結びつけて考える活動を行っていきます。

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	27.4	50.1	19.2	2.8
	白河中央中	31.1	47.0	19.7	2.3

(単位 %)

### 【考 察】

- 「できている」と「どちらかといえばできている」を合わせると、78.1%となり全国平均を上回りました。これは、本校の教育目標である「学び方をくふうし、たしかな学力を身につける生徒」を目指し支援してきた結果だと考えられます。今後も、生徒自身に学び方を考えさせたり、選択させたりする場面を多く設定することで、主体的に学習に取り組むことのできる生徒を育てていきます。
- 「できていない」「どちらかといえばできていない」生徒の割合が2割を越えており、約5人に1人が自分の学び方に対する困り感をもっています。授業などにおいて、個に応じた支援をより一層すす、生徒一人一人が主体的に学んでいけるようにしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7
	白河中央中	0.8	12.9	53.8	24.2	2.3	5.3

(単位 %)

### 【考 察】

- 1時間以上勉強している生徒が67.5%と全国平均の61.6%を上回りました。今後も、生徒自身に自分の目標を自己決定させながら、主体的に家庭学習に取り組んでいけるよう支援していきます。
- 平日の学習時間として、3時間以上と回答した生徒は全国の数値と比較すると低く、家庭における学習時間が全国と比べると短いといえます。調査実施時は、多くの生徒が毎日放課後の部活動に参加しており、帰宅時間が遅かったことが要因と考えられます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	23.0	50.4	21.3	3.7
3	白河中央中	23.5	53.0	19.7	0.8

(単位 %)

【考 察】

- 全体の76.5%が分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができています。これは、どの授業においても振り返りの活動を継続して実施してきた結果だと考えられます。今後も振り返りの活動をより充実していくことで、学びの連続性の大切さを生徒自身に気付かせていきます。
- 振り返り活動の充実に向けて、生徒に「何が分かったか」「どのように学んだか」などの視点で自分の学び方を見直させていきます。そうすることで、自身の成長や変容を自分のことばで表現することができるように支援していきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	45.5	46.4	5.3	1.3
3	白河中央中	59.8	31.8	3.8	0.8

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」生徒は59.8%であり、全国平均を大きく上回りました。これは、共に学び合うことを重点に置いた支援を実践してきた成果だと考えられます。これからも、自他の考えを尊重する態度を育ませながら、周りとは協力して課題の解決に取り組めるよう支援していきます。
- 引き続き、周りとは協力しながら課題の解決に向かうことの必要性に気付けるよう支援していきます。学び合いを通して、自他の考えの違いに気付いたり、自分の考えを深めたりしながら、新たな価値を創造していけるような生徒を育てていきます。